

第 1.0 版

# REDCap

簡単な記述統計を実行する

滋賀医科大学医学部附属病院  
臨床研究開発センター データ管理部門  
作成日 : 2023 年 8 月 31 日

## 目次

はじめに.....	2
プロジェクト状況一覧画面の設定 .....	3

---

## はじめに

本書は REDCap (Research Electronic Data Capture) で行える簡単な記述統計の操作について説明したものです。

REDCap は研究データを電子的に収集する EDC (Electronic Data Capture) で、米国 Vanderbilt (ヴァンダービルト) 大学で開発されたシステムになります。

なお、REDCap 内の表記は日本語化システムのアップデートの影響等で変更になる可能性があります。そのため、本マニュアルと実際の画面では表記が異なる場合があります。

# プロジェクト状況一覧画面の設定

「プロジェクト状況一覧画面」では簡単な記述統計の設定を行うことができます。

**スマート 観数**  
プロジェクト内全てのレコードに適用される集計対象観数です。

スマート観数には、観数、最大、平均、中央値、四分、標準偏差、カウント、および割合が含まれます。

このプロジェクトには 64 レコードが含まれています。すべての参加者の平均歩数 (46.99) (標準偏差=10.48) です。体重の中央値は 169 (単位: lb)、最大は 197 です。

**スマート テーブル** は、フィールドを記述統計、各フィールドをテーブル内で行として表示します。

スマート テーブルはデフォルトですべての観数を表示できます。

	カウント	欠損値	観数	最大	平均	中央値	標準偏差	合計	
歩数 (steps)	54	0	38	130	214	175.76	179	25.57	5491
体重 (kilogram)	54	0	47	35	197	110.54	105	44.02	5969
性別	54	0	7						
ジャンル	54	0	4						

または、指定された観数を使用します。

	平均	標準偏差
歩数 (steps)	46.99	10.48
体重 (kilogram)	110.54	44.02
歩数 (steps)	175.76	25.57

  

スマート チャート を使用すると、プロジェクト内の 1 つ以上のフィールドに対してさまざまな種類のグラフを表示できます。

2 つのフィールド (x と y) を持つ折れ線グラフを表示する

グループ化された 2 つの異なるフィールドを横軸に表示する

グループ化された 3 つの異なるフィールドを横軸に表示する

グループ化された 3 つの異なるフィールドを縦軸に表示する

単一の観数選択フィールドを含む棒グラフを表示します:

アメリカインディアン/アラスカ先住民  
アジア人  
ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島  
黒人またはアフリカ系アメリカ人  
白人  
種別不明

円グラフを表示する

アメリカインディアン/アラスカ先住民 18.54%  
アジア人 18.54%  
ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島 12%  
黒人またはアフリカ系アメリカ人 18.54%  
白人 18.54%  
種別不明 14.9%

棒グラフを横軸に表示し、グループ化する 2 つの異なるフィールドを追加します:

Female Male Other 最も多く見られる

またはドーナツグラフ

アメリカインディアン/アラスカ先住民 18.54%  
アジア人 18.54%  
ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島 12%  
黒人またはアフリカ系アメリカ人 18.54%  
白人 18.54%  
種別不明 14.9%

- プロジェクトメインメニューから「プロジェクト状況一覧画面」をクリックし、開いた画面で **+ 新規状況一覧画面の作成** をクリックします。

The screenshot shows the REDCap interface for a project named 'テストプロジェクト'. The main navigation menu on the left includes 'プロジェクト状況一覧画面' which is highlighted. The main content area displays the 'プロジェクト状況一覧画面' page, which includes a '+ 新規状況一覧画面の作成' button. Below this, there is a table with two columns: '状況一覧画面名' and '状況一覧画面のオプション'. The table is currently empty.

- 表示される画面に「状況一覧画面のタイトル」、「ユーザアクセス」、「公開」に設定する」を入力または選択します。

「状況一覧画面のコンテンツ」に直接もしくは [ウィザードの使用](#) からスマート変数を設定し、[状況一覧画面の保存](#) で保存します。 ※ウィザードの使用については後述します。

**状況一覧画面のタイトル:**

**ユーザアクセス:** 左側のプロジェクトメニューにこの状況一覧画面を表示する人を選択します  
(注: セットアップ/デザイン権限を持つユーザは、プロジェクト状況一覧画面ページを介してすべての状況一覧画面にアクセスできます。)  
 全てのユーザ - または -  アクセスユーザの指定 (ユーザ、役割、アクセスグループの選択)

**「公開」に設定する** 以下のこの機能を有効にすると、REDcapにログインしなくても状況一覧画面を閲覧できる公開リンクが自動生成されます。  
 状況一覧画面は公開されています

**状況一覧画面のコンテンツ:** Paragraph   
スマート関数、スマートテーブル、スマートグラフを含む。表示する関数または動的テキストを追加します。

状況一覧画面のヘルプ [ウィザードの使用](#)

スマート関数、スマートテーブル、およびスマートグラフの例 [使い方を学ぶ](#) [\[?\] スマート関数](#)

[aggregate-mean:age]	[aggregate-count:record_id]
[aggregate-max:weight:0-1200CCFMT]	[stats-table:height_weight_bmi_age]
[stats-table:weight_height_min_max_weight]	[stats-table:weight_height_user_diag_name]
[scatter-plot:weight_height]	[scatter-plot:weight_height_gender]
[line-chart:weight_height:0-5000MMVLA]	[line-chart:weight_height_gender]
[pie-chart:race:enroll_time]	[pie-chart:race:enroll_time_age_dage_dage]
[donut-chart:race:enroll_time_visit_time]	[bar-chart:ethnicity:0-11100M300]
[bar-chart:race_gender:bar-vertical:bar-stacked]	

[状況一覧画面の保存](#) [キャンセル](#)

- 保存すると「状況一覧画面が保存されました！」というウィンドウが表示されます。ここで「状況一覧画面の表示」をクリックするか、メインメニューの「プロジェクト状況一覧画面」から作成した状況一覧画面を確認することができます。

「公開」に設定する 以下のこの機能を有効にすると、REDcapにログインしなくても状況一覧画面を閲覧できる公開リンクが自動生成されます。  
 状況一覧画面は公開されています

**状況一覧画面のコンテンツ:** Paragraph   
スマート関数、スマートテーブル、スマートグラフを含む。表示する関数または動的テキストを追加します。

SMART CHARTS を使用すると、プロジェクト内の1つ以上のフィールドに対してさまざまな種類のグラフを表示できます。

2つのフィールド (x と y) の散布図を表示します。 [scatter-plot:height_weight]	2つのフィールド (x と y) を持つ折れ線グラフを使用します。 [line-chart:height_weight]
グループ化 (色別) のための3番目のフィールドを追加します。 [scatter-plot:height_weight_gender]	グループ化 (色別) のための3番目のフィールドを追加します。 [line-chart:height_weight_gender]
単一の複数選択フィールドを含む棒グラフを表示します。 [bar-chart:race]	棒グラフを横道に表示し、グループ化する2番目のフィールドを追加します。

円グラフを表示する [pie-chart:race]

スマート関数、スマートテーブル、およびスマートグラフの例 [使い方を学ぶ](#) [\[?\] スマート関数](#)

[状況一覧画面の保存](#) [キャンセル](#)

✓ 状況一覧画面が保存されました!

状況一覧画面の名前が表示されました「テスト」の保存に成功しました。

[状況一覧画面の表示](#) [マイ状況一覧画面に戻る](#) [状況一覧画面の編集を続ける](#)

## « ウィザードの使用 »

1. 「新規状況一覧画面の作成」から「ウィザードの作成」をクリックします。
2. 「スマート関数、スマートテーブル、スマートグラフを作成するためのウィザード」画面の Step 1) でスマート変数を、  
ステップ 2) で使用したいフィールドを、  
ステップ 3) でレポートや DAG (グループ)、イベントのフィルタリングを選択します。  
Step 4) に構文が自動で作成されるので、それをコピーしてから、「閉じる」をクリックします。
3. 「状況一覧画面のコンテンツ」にコピーした構文をペーストとします。  
※スマート変数の詳細は前画面右下の **(4) スマート変数** から確認できます。

スマート関数、スマートテーブル、スマートグラフを作成するためのウィザード

このウィザードでは、プロジェクト状況一覧画面で使用できる新しいスマート関数、スマートテーブル、またはスマートグラフを作成することができます。使用するスマート変数、使用するフィールド、その他のオプション機能について、以下のドロップダウンリストを使用して選択します。選択が完了したら、下部にある「クリップボードにコピー」ボタンをクリックし、生成されたテキストをプロジェクト状況一覧画面の本文に貼り付けることができます。

Step 1) 作成するスマート変数を選択します:

aggregate-min

ステップ 2) 利用するフィールドを選択します:

study\_id "Study ID"

+別のフィールドを追加する

ステップ 3) 任意のデータフィルタリングとその他の設定:

デフォルトでは、スマート関数、スマートテーブル、およびスマートグラフは、プロジェクトのすべてのレコードからすべてのデータを使用します。ただし、特定のレポートや特定のレポート名を使用し、1つまたは複数のDAGに属するレコード、およびまたは特定のイベントのデータ(プロジェクトが特定の理由に指定することで、プロジェクト内のデータのサブセットを利用することができます)。

レポートを使用したデータのフィルタリング:

--レポートによるフィルタリングなし--

DAGを使用したデータのフィルタリング:

DAGによるフィルタリングなし

現在のユーザのDAG

Duke

Hanavark

Step 4) 生成されたスマート変数の構文をコピーして、プロジェクトの状況一覧画面に貼り付けます:

[aggregate-min:study\_id]

クリップボードにコピー

閉じる

日付	版数	変更箇所
2023/8/31	第 1.0 版	新規作成